

令和 8年度予算見積調書

課室名：河川砂防課
 担当名：防災
 内線：5129 (単位：千円)

番号	事業名				会計	款	項	目	説明事業	
N330	水防情報システム整備費				一般会計	土木費	河川費	水防費	水防情報システム整備費	
事業期間	昭和56年度～	根拠法令	水防法				針路	01 災害・危機に強い埼玉の構築	SDGsゴール	11, 13
							分野施策	0103 治水・治山対策の推進	SDGsターゲット	11-5, 13-1
1 事業概要 洪水による被害から県民の生命及び財産を守るため、県内の河川水位や雨量を把握しておくことは水防法に基づく水防活動の根幹をなすものである。 また、収集された情報を県民や水防関係者に迅速かつ正確に伝達することにより、洪水による被害を軽減することに繋がる。 以上の目的達成のため、「水防情報システム」を適正に維持・運用する。 水防情報システム整備費 214, 147千円					5 事業説明 (1) 事業内容 各観測局の運営及び維持管理に要する費用 (2) 事業計画 ア 水防情報システムに係る機器の適正な維持管理 イ 気象情報及び河川水位などの情報発信システムの安定的運用 ウ 老朽化する設備の修繕工事の実施 (3) 事業効果 迅速かつ的確な情報発信により、洪水による人的、物的被害を軽減 長年蓄積された観測データを河川改修計画の立案に活用し、実態に則した計画策定が可能 (4) 必要性 水防活動する上で重要な情報となる河川水位及び雨量の観測データや気象情報を、正確かつ迅速な伝達が必要 県管理の水防警報河川が基準水位を超えた場合、水防法に基づき関係者へ通報し公表する義務がある (5) その他 過去の実績(単位：千円) 年度 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 令和7年度 事業費 71, 047 220, 407 152, 457 264, 407 257, 547					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)										
3 地方財政措置の状況 防災対策事業債 充当率75%、交付税措置率30%										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9, 500千円×0. 2人=1, 900千円										
予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との対比	
		県 債								
決定額	214, 147	98, 000							116, 147	△43, 400
前年額	257, 547	141, 000							116, 547	

事業内訳書

事業名	水防情報システム整備費		
単位事業名	水防情報システム整備費	予算額	214,147千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
県債・ 土木債	98,000	△2,000	県単独河川改修事業債
一般財源	116,147	0	
合計	214,147	△2,000	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
需用費	8,940	△200	光熱水費、小破修繕料
役務費	14,332	1,164	データ通信料
委託料	64,500	△2,460	保守点検業務委託
使用料及び賃借料	28,375	1,496	回線使用料、データセンター使用料
工事請負費	98,000	△2,000	水位計更新工事

単位事業名	水防情報システム整備費	予算額	214,147千円
-------	-------------	-----	-----------

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
合計	214,147	△2,000	